

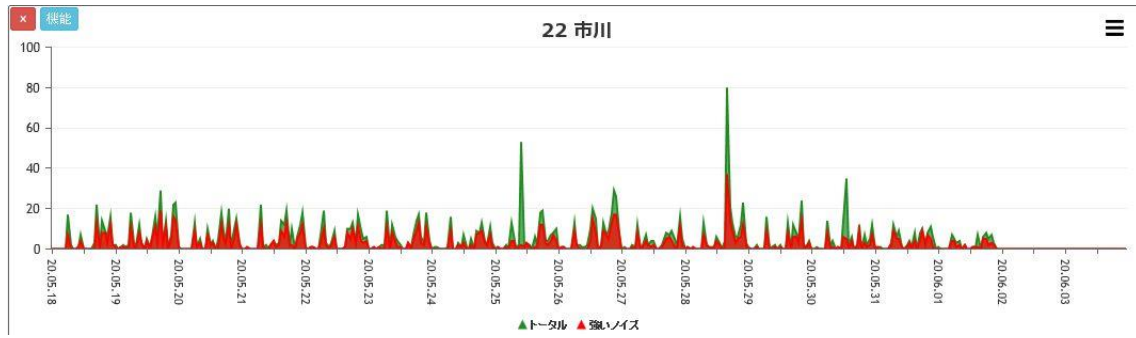
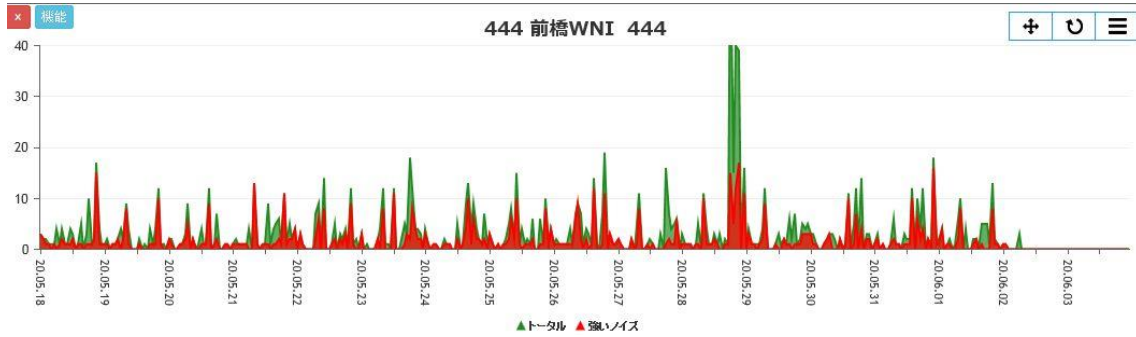
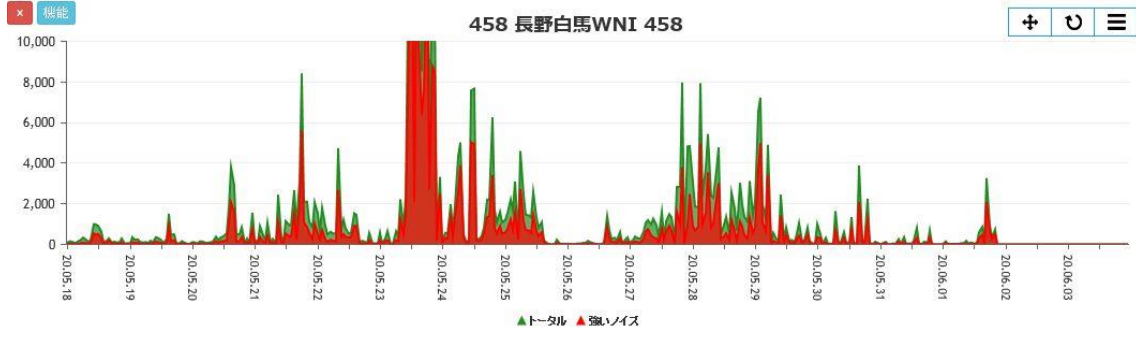
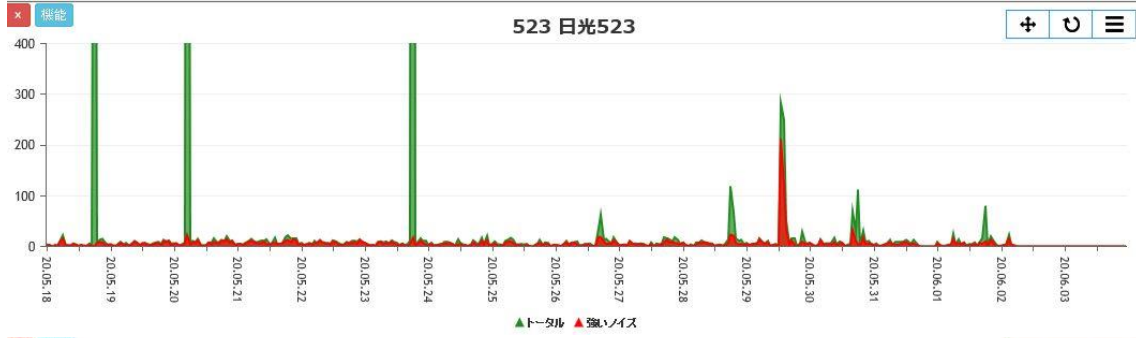
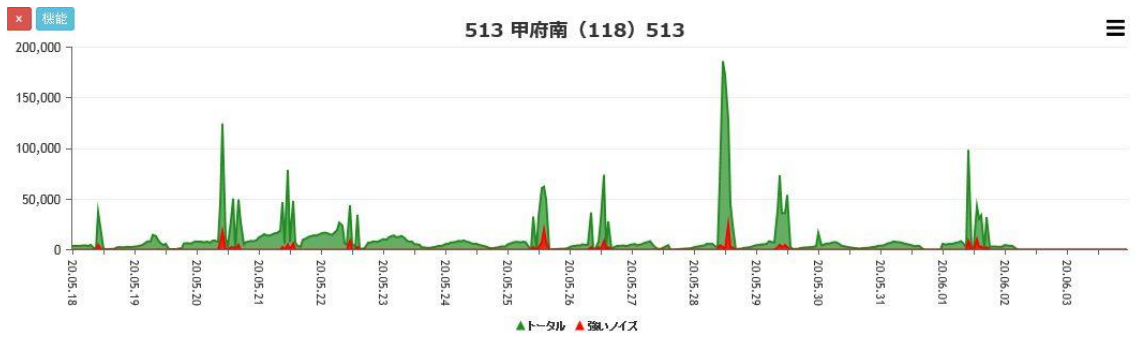
200602 関東一中部、各地の収束状況

6月1日午前6時02分に茨城県北部M5.3が発生し、関東は揺れました。それまで各地のデータは反発（リバウンド）をせずに、長く減衰をつづけていて、その後、発震になりました。一方で、五反田観測点のデータの長さ、大きさ、周囲のデータからみますと、これはまだ前震である、という可能性は残っており、関東、中部の大きな地震の可能性は否定できません。長期にわたる長野の群発地震の関連や東京湾での小群発、また伊勢のデータの収束の関連などもあり、念のためもうしばらく、ここ2~3日位は関東一中部のM6超の、大きな地震にご注意すべきと考えます。

~~~~~

関東各地の15日間データ：五反田、文京、大島、狭山、甲府、日光、白馬などの多くの観測点で5月31日にいったん収束したデータが6月1日に同期した小さい山が出ている。

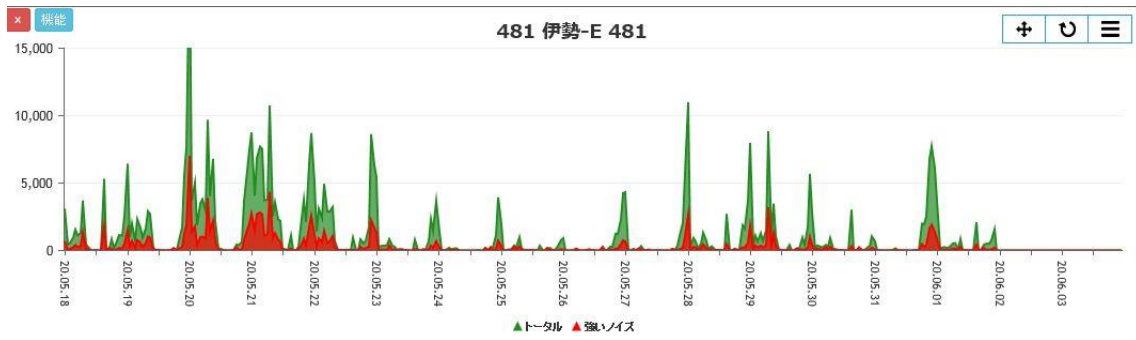




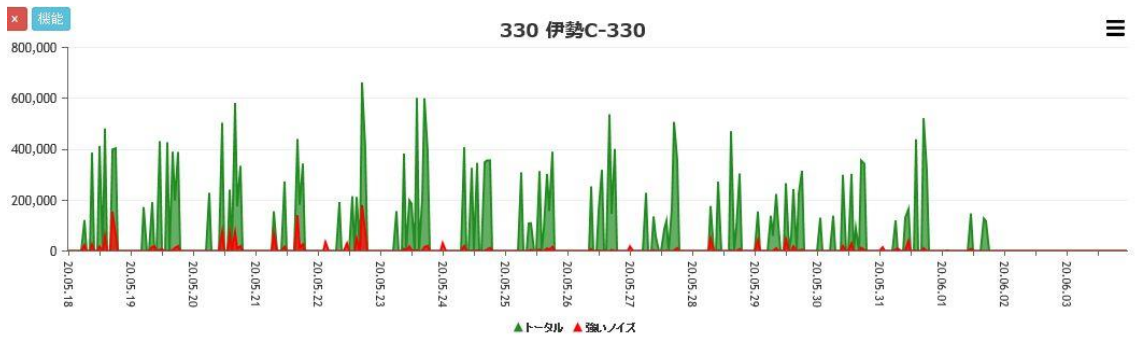
~~~~~

伊勢のデータについて：

伊勢 E481 伊勢 C330 について：伊勢 E481 は上記の関東各地のデータと同期していったん 5 月 31 日に収束して再度小さい山が出ていて上記関のデータと同期している。



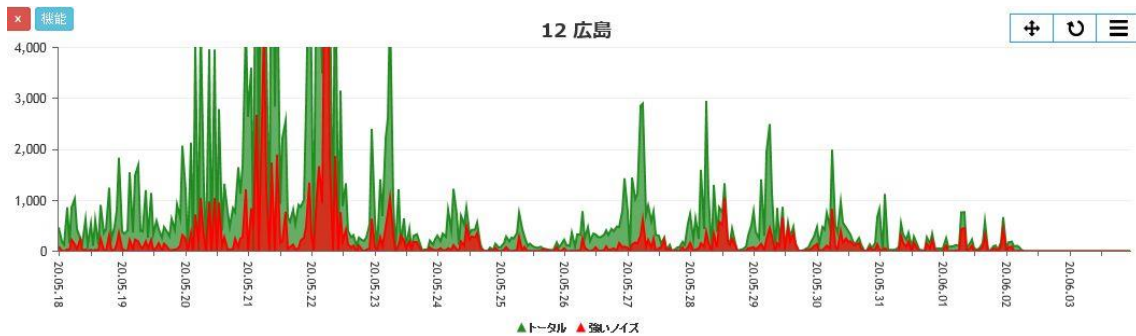
伊勢 C330 は収束はせず、減少傾向であるが 6 月 1 日でさらに減少してきた。



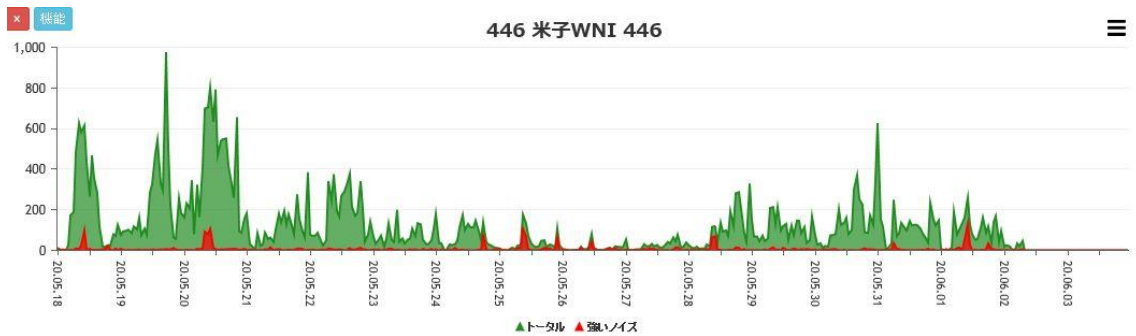
~~~~~

広島、米子について：

広島はデータも、上記の関東各地のデータと同期していったん 5 月 31 日に収束して再度小さい山が出ている。



米子はいったん 5 月 27 日ごろに収束して 再度山を作りまた収束してきている。



こちらは関東一中部とは別で、中国地方を中心として M5 クラスの地震がここ数日で考えられます。